

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.233



発行日 2021年8月16日

発行所

一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 柏原 昭博

〒162-0801

東京都新宿区山吹町358番地5

アカデミーセンター

URL <https://www.jsise.org>

E-MAIL secretariat@jsise.org



第46回全国大会案内・・・・・・・・・・	2	研究会報告年間購読案内・・・・・・・・	15
編集委員会全国大会プレカンファレンス		支部活動報告・・・・・・・・・・	16
開催案内・・・・・・・・・・	6	広報からのお知らせ・・・・・・・・	18
ラーニングイノベーショングランプリ2021		協賛・後援イベントのお知らせ.....	19
応募受付中・・・・・・・・・・	7	会費納入のお願い・・・・・・・・	20
科研費申請支援制度・・・・・・・・	8	事務局より・・・・・・・・・・	22
合同英文誌 ITEL 論文募集.....	10	会員専用ページの案内,	
第3回研究会講演募集.....	11	入会のご案内,	
第2回研究会開催報告.....	13	新入会員のご紹介	
研究会開催年間スケジュール.....	14		





第46回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：ニューノーマル時代の学びのサステイナブル化を支える教育システム技術

<https://www.jsise.org/taikai/2021/>

- 開催日時： 2021年9月1日(水)～9月3日(金)
- 会場： **全日程オンラインで実施することになりました**
- 主催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 全国大会の実施方法について

第46回全国大会ではこれまで、参加者の皆さまが少しでも対面で交流ができますよう、メインイベントのみですが対面とのハイブリッドで実施できるように調整を進めておりました。しかし、昨今のコロナのまん延に伴い、県をまたいでの移動を控えるようにというお願いが全国に向けて出されています。また、広島県でも「新型コロナ感染拡大防止のための早期集中対策」が決定され、会場となる西区民文化センターも9月12日まで閉館することになりました。このような状況を鑑みまして、全国大会は**初日(9月1日)のハイブリッド開催をオンラインのみに変更**し、全日程をフルオンラインでの開催に変更させていただきます。

■ 大会日程

9月1日(水)	
11:00～11:10	オープニング(開催校挨拶)
11:10～12:10	基調講演
12:10～13:10	昼休み
13:10～13:30	各種表彰
13:40～15:40	メインイベント
9月2日(木)	
9:00～11:50	プレカンファレンス
11:50～13:00	昼休み
13:00～14:10	インタラクティブセッション(1)
14:30～15:55	一般・企画セッション(1)
16:10～17:35	一般・企画セッション(2)

9月3日(金)	
9:00～10:25	一般・企画セッション(3)
10:40～12:05	一般・企画セッション(4)
12:05～13:00	昼休み
13:00～14:25	一般・企画セッション(5)
14:45～16:10	一般・企画セッション(6)
16:30～17:40	インタラクティブセッション(2)・学生研究特別セッション
17:50～18:00	クロージング

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,500円 学生会員：3,200円 非会員(学生以外)：10,800円 非会員(学生)：5,400円 論文掲載料：1,000円(論文一編につき)	当日申込は実施いたしません。 <u>必ず事前申込をお願い致します。</u>

第46回大会では当日申込中止に伴いクレジットカードでの事前参加申込を8月27日(金)まで延長しております。

※ 前号および大会 Web サイト上にてクレジットカードでの事前参加申込を8月28日(金)と表記しておりました。お詫びして訂正申し上げます。

Web 論文集公開日との兼ね合いによりお支払い後のキャンセルは8月22日(日)までとなりますのでご了承ください。(8月23日(月)以降に新規お申し込みされた場合でもキャンセルができませんのでご注意ください。)

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンスの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 基調講演(9月1日(水) 11:10～12:10)

「教育システム情報学再考～閉じこもる学びについて考える～」

柏原 昭博(教育システム情報学会会長、電気通信大学大学院情報理工学研究科・教授)

○ メインイベント(9月1日(水) 13:40～15:40)

「ニューノーマル時代の学びに向けた学びのデジタルトランスフォーメーション」

登壇者：

白水 始(国立教育政策研究所・初等中等教育研究部総括研究官)

緒方 広明(京都大学学術情報メディアセンター・教授)

鷹岡 亮(山口大学教育学部・教授)

平嶋 宗(広島大学先進理工学系研究科・教授)

司会：

村上 正行（大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部・教授）

- プレカンファレンス（9月2日（木）9:00～11:50）
 - 1. SEL（Social and Emotional Learning）の高等教育への適応
 - 2. 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー
— ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーション —
 - 3. 教育・学習支援システム若手研究者のマインドセット【ディスカッション】
大学院進学を考える学生の背中を押す「ひとこと」を探そう【ディスカッション】
 - 4. 社会の中のJSiSE—学びと生き方を考える—（仮タイトル）
 - 5. OSSにおける翻訳貢献のための基盤の構築
- 企画セッション（9月2日（木）14:30～15:55, 16:10～17:35, 9月3日（金）9:00～10:25,
10:40～12:05, 13:00～14:25, 14:45～16:10）……………（35件）
 - 1. SEL(Social and Emotional Learning)の高等教育への適応（4件）
 - 2. 教育DXを支えるLA(Learning Analytics)の多面的検討（7件）
 - 3. 先進的学習メディアを用いた新しい学習体験の創出（8件）
 - 4. データサイエンス教育におけるモデルカリキュラムとプログラミング教育（3件）
 - 5. ニューノーマル時代の医療者教育（3件）
 - 6. 教育DXと実世界指向学習環境（6件）
 - 7. 次世代の人材を育成するため変革する教育システム（4件）
- 学生研究特別セッション（インタラクティブ（ポスター・デモ）発表）……………（13件）
- 一般セッション（インタラクティブ（ポスター・デモ）発表）……………（25件）
- 一般セッション（口頭発表）……………（94件）
 - 1. スキル学習（4件）
 - 2. プログラミング教育（12件）
 - 3. 授業設計・インストラクショナルデザイン（3件）
 - 4. 学習評価・アセスメント（3件）
 - 5. 語学教育（4件）
 - 6. 協調学習（5件）
 - 7. 先進的学習支援（12件）
 - 8. 医療・看護・福祉教育（3件）
 - 9. デバイス活用（4件）
 - 10. 遠隔教育（4件）
 - 11. 情報リテラシー／情報技術教育（4件）
 - 12. 防災教育（4件）
 - 13. ブレンディッド学習（3件）
 - 14. マルチメディア活用／ソーシャルメディア活用／プラットフォーム活用（4件）
 - 15. 高等教育（4件）
 - 16. 学習者特定・行動分析／モデリング技術（8件）
 - 17. プラットフォーム開発／インフラストラクチャ（3件）
 - 18. 初等中等教育（2件）
 - 19. 教科教育（3件）
 - 20. 特別支援教育（2件）
 - 21. 連携型教育（2件）

■ 講演論文集について

第45回大会より CD-ROM での配布を廃止し、Web による配布のみとしております。Web 版の講演論文集は、2021年8月23日(月)に大会参加者のみに公開され、2022年3月1日(火)に一般公開されます。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp



全国大会プレカンファレンス 反転が生み出す論文投稿のブレークスルー ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

担当者： 学会誌編集委員会

開催日時： 2021年9月2日（木）大会2日目 9:00～11:50

オーガナイザ： 瀬田和久（大阪府大）、村上正行（大阪大）、松田憲幸（和歌山大）、後藤田中（香川大）、田中孝治（金沢工業大）、近藤伸彦（東京都立大）、山元翔（近畿大）

申込締め切り： 2021年8月6日（金）

論文の投稿や査読について、お悩みや不安、疑問はないでしょうか？

本学会の論文カテゴリは「一般論文」、「実践論文」、「ショートノート」、「実践速報」の4つです。たとえば、論文を投稿したいがカテゴリの違いが判然としない、実践論文が満たさなければならない基準って何だろう？、研究を進める上でのポイント・ヒントを知りたい、査読における考え方を整理したいなど、投稿や査読に関するあらゆるお悩み・不安について、編集委員と参加者が知恵を出し合う対話を通して論文投稿のブレークスルーを見出します。

本セッションは、「論文執筆チュートリアル」、「論文投稿ファシリテーション」の2部構成になっております。

前半では、プレカンファレンスにおいて、学会誌38巻2号に掲載された以下の2本に解説論文に基づき、これからの論文執筆・投稿の参考となるチュートリアルを実施いたします。

- ・瀬田和久，桑原千幸，仲林清：採録される論文の書き方ー誌上チュートリアル
- ・田中孝治，津森伸一：教育システム情報学における質的データを扱う学習評価のミカタ

後半では、これまでもご好評いただいている、論文投稿に関わる相談会を、対面の相談・議論に臨む“反転 + ディスカッション”ベースで実施いたします。本年度も、相談会の開催はオンライン開催となります。また、前半の新しい2つのチュートリアルのコンテンツをプレカンファレンスの開催に先駆けて収録しますので、こちらの相談会を希望される方には、事前に視聴いただき、発表スライドを作成いただけます。投稿を予定しておられるなど、ご相談を希望される方（Advisee）の手順は下記の通りです。ご応募お待ちしております。

1. 【事前】 次の URL から応募ください（ <https://forms.gle/kJ1Mocp7pJkxRgmv6> ）
2. 【事前】 締め切り後にお知らせするチュートリアルを閲覧
3. 【当日】 投稿予定の研究や執筆上の懸案を発表
※ zoom を用いたオンラインでの実施を予定しています。
4. 【事後】 論文投稿（可能であれば）
※ 希望者多数の場合は学会誌編集委員会で選定します。
※ 事前に発表スライドなどの資料の提出をお願いすることがあります。

問い合わせ： 後藤田中 gotoda.naka@kagawa-u.ac.jp



「ラーニングイノベーションングランプリ 2021」応募受付中

担当者： 教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長 松浦 健二

JSiSE が 2016 年度より共催している産学連携イベントであるラーニングイノベーションングランプリが今年度も開催されます。昨年度（2020 年度）は、コロナ禍のために開催を見送らざるを得ない状況となりましたが、今年度はオンライン形式にて再開することとなりました。

ラーニングイノベーションングランプリは、学術界での学習・教育におけるラーニングテクノロジーに関する研究成果やその芽生え期の研究を産業界が評価する、年に一度のコンペティションです。大学等の研究は、普段アカデミックな評価を受ける機会が多いのですが、本イベントでは産業界も普段目を向けていないような研究や、産業界から見て価値のある潜在的な研究も評価されます。応募対象は、高等教育機関（大学・大学院・高等専門学校等）の研究室（チーム）です。

皆様の研究成果を論文評価とは異なる目で見ただけの機会であり、毎年多くの作品が応募され、産業界からのフィードバックを得られております。是非ご応募をご検討ください。

【スケジュール】 **※切延長しました（スケジュールも変更になっています）**

8月12日(木)：応募受付締め切り(昼 12:00 締め切り)

8月24日(火)：一次審査結果発表

8月24日(火)～9月13日(月)：動画制作期間

9月13日(月)：二次審査用動画締め切り(昼 12:00 締め切り)

9月21日(火)：審査結果発表

10月中旬：オンラインイベント「ラーニングイノベーション 2021」内で審査講評，パネルディスカッション

【公式サイト】

<https://ligp.gingerapp.co.jp/>

★これまでに受賞された研究がアーカイブス「ラーニングイノベーションングランプリ・アーカイブス」としてまとめられております (https://ligp.gingerapp.co.jp/?page_id=1845 にてご覧いただけます)。紹介動画もございますので、是非ご覧ください。

主催：マイクロラーニングコンソシアム (mLC)

共催：教育システム情報学会 (JSiSE)，日本イーラーニングコンソシアム (eLC)

協力：日経 BP，ジンジャーアップ (公式サイト)

運営：ラーニングイノベーションングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ゴールドスポンサー：イーラーニング，サイコムブレインズ，ユームテクノロジージャパン，WARK



科研費申請支援制度（2021年度夏期）のご案内

担当者： JSiSE 人材育成委員会

教育システム情報学会では、次代を担う若手研究者の自立、研究活動の活性化を積極的に支援することを主旨として、科研費申請支援制度を試行します。本学会の理事等を中心に、当該分野の科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者（匿名）が、提出された申請書に対して、主張点や論旨の明確化、焦点化など、審査員に上手に伝えアピールする視点から、採択に向けたコメントを書面で提供するものです。申請書評価の多様な見方に触れて頂くためにも、学会としてまとめることはせずコメントータからのコメントをそのまま提供します。これらを参考材料として申請者ご自身の判断の下で取捨選択しての申請書のブラッシュアップに役立てて頂く主旨のものです。学会およびコメント提供者は申請内容について守秘義務を負うものとし、なお学会およびコメント提供者は採択に関する責任を負うことはできませんので、予めご承知おきください。

本制度は若手研究・基盤研究（C）および研究活動スタート支援を支援対象とします。主として以下の分野を対象にしますが、JSiSE が学際的な領域を対象にしていることから、他の分野でもできるだけ柔軟にお受けしたいと考えていますので、下記問い合わせ先までご相談ください。

・夏期支援種目：

- ・若手研究
- ・基盤研究(C)（ただし、若手研究の応募資格を有する方に限る※）

※令和3年度公募より若手研究の応募資格が変更されています。

詳しくは学術振興会Webサイト等をご参照ください。

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/06_jsps_info/g_210709_2/data/siryou2.pdf

（研究活動スタート支援は春期の支援を予定しています。）

・分野：

- ・「大区分A」「中区分9：教育学およびその関連分野」
 - ・09070 教育工学関連
 - ・09080 科学教育関連
- ・「大区分J」「中区分62：応用情報学およびその関連分野」
 - ・62030 学習支援システム関連

・申請者は学会員であることが必要です。

スケジュールは以下の通りです。ご所属機関により提出時期が異なることを踏まえ、提出期間に幅を持たせています。

○エントリー

若手研究および基盤研究 (C) : 8月1日より

下記提出先まで電子メールにて、 代表者氏名(所属)・タイトル・応募種目・分野(大区分、小区分)をお知らせください。

サブジェクトは「JSiSE 科研費申請支援」を含む文字列でお願いします。

※エントリーがなくても申請は随時受付いたしますが、事前にエントリー頂ければメンテータに書類を迅速にお送りできますので、結果の返送も早くなります。

○申請書提出

若手研究および基盤研究 (C) : 8月上旬 ~ 申請者所属機関の申請書類締め切りの2週間前まで

申請書のファイル (MS-Word または PDF 形式) を下記提出先までお送りください (予算明細などの詳細まで埋めていただく必要はありませんが、よりよいコメントを提供するために、ある程度内容が固まってからご提出いただくのが望ましいと思われまます)。提出いただき次第、メンテータに申請書を送付します。

○コメントのお返し

【各メンテータから提出があり次第、随時コメントをお返します。】

事前エントリーがあった場合申請書提出から1週間前後、ない場合10日前後の返信を予定しておりますが、事情により遅れる可能性もございますので余裕をもってお申込みください。

エントリー、申請書提出およびお問い合わせ先

JSiSE 人材育成委員会 (jsise-y-support@googlegroups.com)



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）Vol.2 への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。投稿後、7 か月までには、採録の可否を決定・通知する予定ですので、短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。

- 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）, 実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）, システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）, ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）
<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります（著者照会は 1 回のみ）。
 - 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



2021 年度 第 3 回研究会 講演募集

担当者： 三好 康夫（高知大学）、安間 文彦（サイバー大学）、小西 達裕（静岡大学）

■テーマ： 対面・オンライン・ハイブリッド授業支援／一般

■開催日時： 2021 年 9 月 24 日（金）

■開催場所： オンライン開催（Zoom を使用）

■趣旨：

コロナ禍の影響により、多くの大学で対面授業が自粛され、オンラインで授業を実施しなければならない状況が続いております。教師の ICT 機器の操作スキルは差が大きく、学習者側も操作スキルの差だけでなく機器やネットワークの環境にも違いがあることから、当初は手探り状態の現場の多くが混迷状態になっていたことと思われます。少しずつオンライン授業にも慣れ、授業実施に関する知見も蓄積されてきている今、本年度第 3 回研究会では「対面・オンライン・ハイブリッド授業支援」をテーマに、授業現場や学校教育を支える今後の教育システムのあり方を議論したいと考えております。

オンライン授業はオンデマンド型とリアルタイム型に大別することができ、それぞれの特徴を考慮して使い分けられています。また、対面授業とオンライン授業を組み合わせたハイブリッド型授業も注目され、様々な教育現場で実践されています。一方で、授業形態が多様化したことにより、出席管理やインタラクション、グループワークなどは授業形態ごとにやり方を変えなければならないなど、教師の負担が増大している側面も無視することはできません。特に成績評価において、学習者の様子の把握や公正な試験実施がオンラインで困難であることは、非常に悩ましい問題の一つです。そこで、このような問題の解決を目的とした支援システムの開発や支援の取り組みのような、多様化した授業形態の支援に関する研究発表を幅広く募集いたします。教師を支援対象にした研究に限らず、学習者や学校職員、保護者などを支援対象とした研究の発表もぜひご応募ください。その他、教育・学習支援システムに関する幅広い分野の発表も歓迎いたします。

■発表申込締切： 2021 年 8 月 5 日（木）（講演申込締切済）

■原稿提出締切： 2021 年 8 月 25 日（水）

■発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分、質疑 7 分、入れ替え 1 分）を予定しております。

■発表申込および研究会への参加方法：

2021年度研究会より，研究発表および研究会参加には，研究報告の年間購読（4,000円/年）または各回の研究報告の購入（1,000円/回）が必要となります。ただし，聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

Zoom開催の場合のアクセス先は，申込受付メールに送信されるメールに記載してあります。

○発表者

発表申込および原稿提出は，下記「申込者ログイン」よりお願いします。

また，事前参加申込（研究報告の購入）は6月18日9時に開始します。

開始時刻以降に，下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

○聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は，「申込者ログイン」での手続きは行わず，下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は6月18日9時に開始します。

開始時刻以降に，下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

申込者ログイン：<https://iap-jp.org/jsise/course3/login.php>

研究会への参加と研究報告の購入・閲覧：<https://www.jsise.org/participate.html>

執筆要領などについては以下のページをご確認ください。

研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究報告見本：<https://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■お問い合わせ先：

三好康夫（高知大学，第3回研究会担当委員）

E-mail: [miyoshi\[at mark\]is.kochi-u.ac.jp](mailto:miyoshi@is.kochi-u.ac.jp)（[at mark]の部分は，半角の「@」に変えて下さい）



2021 年度 第 2 回研究会 開催報告

担当者：金子 大輔(北星学園大)，小松川 浩(公立千歳科技大)，布施 泉(北海道大)
不破 泰(信州大)，野崎 浩成(愛知教育大)

■テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般

■開催日：2021 年 7 月 17 日(土) 10:30-16:40

■会場：オンライン開催

■概要：

2021 年度の第 2 回研究会は、7 月 17 日(土)、オンラインにて「ICT を活用した学修支援/一般」というテーマで開催されました。昨年度の第 2 回研究会は中止となりましたが、今回は無事に開催出来ました。開催にあたり、ご尽力くださったみなさんに感謝申し上げます。本研究会では 11 件の発表が行われました。参加者は 33 名でした。シングルセッションで実施されたこともあり、質疑応答も非常に活発に行われました。学部生の発表者も多かったため、さながら大学のゼミのような雰囲気になる場面も見られました。

内容は、時期に合わせ、コロナ禍における多様な DX に関する研究が多く見られました。それに関連し、遠隔と対面を合わせたハイブリッド型・ハイフレックス型の授業に関する研究もありました。その他、授業における子どもの特性を顔情報を用いて取得する研究など、多様なテーマでの研究発表が行われました。なお、今回発表されたタイトルは以下の通りです。

- 保育現場における ICT 導入や現状と課題
- 顔情報を用いた授業中の子どもの特性リフレクションシステムの開発
- 漫画教材を用いたナラティブアプローチのオンライン「語学学習・異文化理解教育」への応用
- コロナ禍における観光 DX の可能性と今後の展望
- テレワークを活用した With コロナにおける働き方
- オンライン診療の発展の可能性と課題点
- プログラミングロボットを活用したハイブリッド型授業における協調学習の実践と評価
- 大学院におけるハイフレックス講義環境の構築と運用
- ロジカルシンキングを活用したレポート作成技法の修得に向けた授業実践法
- 都市緑化における ICT の利用可能性についてと今後の展望
- 幼児教育における e ポートフォリオの設計



2021 年度研究会開催スケジュール

2021 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ (<https://www.jsise.org/society/committee.html>) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX 時代に向けた学習環境の変革／ヘルスケア分野における ICT 活用の高度化／一般	5 月 8 日(土)	オンライン開催	終了	
第 2 回	ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般	7 月 17 日(土)	オンライン開催	終了	
第 3 回	対面・オンライン授業支援／一般	9 月 24 日(金)	オンライン開催	8 月 5 日(木)	8 月 25 日(水)
第 4 回	身体的・認知的スキルに関わる支援技術／一般	11 月 13 日(土) または 11 月 14 日(日)	北陸先端科学技術大学院大学 金沢オフィス または 旭台キャンパス ハイフレックス (またはオンラインのみ開催) に対応予定	9 月 22 日(水)	10 月 14 日(木)
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習環境／一般	2022 年 1 月中を予定	徳島大学 (状況に応じてオンライン開催)	未定	未定
第 6 回	Society 5.0 に対応したデータサイエンス教育の実践	3 月中旬	大阪教育大学柏原キャンパス (状況に応じてオンライン開催)	未定	未定
特集	未定	3 月中旬	大阪教育大学柏原キャンパス (状況に応じてオンライン開催)	未定	未定

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円(定例研究会年6回、特集研究会1回、計7回分を含む)
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望

会員番号 (お分かりであれば) :

お名前 :

所属 :

連絡先 e メールアドレス :

=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

北信越支部より活動報告



電子情報通信学会 信越支部大会における 教育システム情報学セッション開催のご案内

北信越支部では、9月25日（土）にオンライン開催される電子情報通信学会 信越支部大会において、教育システム情報学に関するセッションを主催いたします。北信越地区に限らず、同分野に関して多くの研究者・学生が集まる機会として、ご活用いただきますようお願いいたします。

講演申込・原稿投稿などに関する日程は、以下のとおりです。

8月3日（月）17時：講演申込および原稿投稿締切（講演申込締切済）

9月上旬予定：参加申込締切

詳しくは電子情報通信学会 信越支部のWebページをご参照ください。

電子情報通信学会 信越支部：<https://www.ieice.org/shinetsu/>

関東支部より活動報告



リサーチ・コ・コ・コモンズ開催のお知らせ

担当者： 教育システム情報学会 関東支部

2019年度に引き続き、関東支部主催にて連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を開催いたします。今年度は学生の皆さまに自身の研究の魅力を再発見していただくための企画です。

学外の研究者・学生との議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見してみませんか？

開催日時：11月27日（土）10:00～17:00（予定）

場所：早稲田大学早稲田キャンパス（予定／ハイブリッド）

対象：他大学の方々との交流を通じて自身の研究を見つめ直したい学生

※ 関東・東北地区以外の学生の方の参加も大歓迎です。

<プログラム>

第1部：ベテラン研究者・企業研究者からのメッセージ

講演題目：未定

講演者：未定

第2部：魅力 Aware / Share / Deeper セッション

研究紹介

自身の研究の魅力を参加者に伝えよう

伝え方は自由（PowerPoint・ポスター・口頭のみ）中間発表などで使ったものを流用してもOK！

参加者とのディスカッション

学外の研究者・学生との建設的な議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見しよう

発表募集は10月下旬から行う予定です。

次号のニュース・レターで詳しくお知らせ致します。

広報からのお知らせ



Twitter アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用（フォロー）ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2021年7月31日現在、フォロワー数 254 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2021年7月31日現在、いいね 467 件、513 人フォロー



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

後援「eラーニングアワード2021フォーラム」

日時：2021年11月11日（木）～11月13日（土）

2021年11月16日（火）～11月18日（木）

会場：オンライン開催

後援「日本情報オリンピック」

日時：～2022年3月24日

協賛「ヒューマンインタフェースシンポジウム2021」

日時：2021年9月15日（水）～9月17日（金）

会場：オンライン開催



会費納入のお願い

会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、2021年度会費未納の方はご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。なお、7/13 に会費納入のお願いをメールでお送りしましたので、合わせてご確認をお願いします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガックイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ) キョウイクシステムジョウホウガックイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。

※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。(2021年5月25日～2021年7月21日)

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
大槻 育子	学生会員 (購読)	坂巻 顕太郎	正会員
小濱 隆司	正会員 (購読)	二本柳 綾香	学生会員
呉 濟元	正会員 (購読)	坂本 昌宏	学生会員
葛原 誠太	正会員	曾我 百華	学生会員
松下 侑輝	正会員	齋藤 皓	学生会員
李 善珠	正会員	梅津 寛香	学生会員
堤 瑛美子	学生会員	吉村 友希	正会員
向坂 幸雄	正会員	森 大樹	学生会員
八坂 亮祐	正会員 (購読)	藤原 紀章	正会員 (購読)
森田 博人	学生会員	石黒 千晶	正会員
東海林 航	学生会員		

(計 21 名)